

～鳥取型「新しい生活様式」実践向け～

# スポーツイベントにおける

## 事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

鳥取県くらしの安心推進課

新型コロナウイルスに感染しないようにイベントを実施するため、イベント主催者が実施するサービス等の場面ごとに発生するおそれがある感染リスクへの対策例を整理しました。

皆さんのイベントや利用される施設の状況等にあわせて実践してください。

※ この対策例は最新の情報に基づき適宜更新していきます。

### 新型コロナ克服3カ条 (県民みんなで取り組む感染予防の合言葉)

#### 1. 人と人 間が愛だ

人と人とが約2m離れば、飛沫感染防止で安心！



★こんな工夫も…

- ・レジに並ぶときは前後にスペース
- ・歌や応援は十分な距離をとって
- ・テレビ会議やテレワーク、電話もOK
- ・オンライン飲み会や遠隔診療

#### 2. 三つもの 密だとミスだ

「三つの密」の回避(密閉・密集・密接)

※これまでの集団感染が生じた場の共通点を踏まえると、「三つの密」のある場が感染拡大のリスクが高いと考えられています。



★こんな工夫も…

- ・定期的窓をあけるなどこまめに換気(できれば2方向で)
- ・飲食は持ち帰り、宅配も
- ・スーパーやジョギング、公園は少人数、空いた時間に
- ・会話する際は、可能な限り対面を避ける
- ・待てる買い物は通販で
- ・食事は大皿を避け、料理は個々に
- ・筋トレやヨガは自宅で動画を活用

#### 3. 幸せは 予防で呼ぼう

こまめな手洗いや咳エチケットで、新型コロナウイルス感染症を予防！

※発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモしておきましょう。



★こんな工夫も…

- ・トイレのふたを閉めて汚物を流す
- ・ビニール袋で密閉してごみを廃棄
- ・発熱、風邪症状など、無理せず自宅療養 (最寄りの発熱・帰国者・接触者相談センターにご相談ください)
- ・症状がなくても、マスクを着用して会話するのがエチケット

## スポーツイベントの場面ごとの感染拡大予防対策

※全国的な集客を伴うイベント又は参加者が1000人を超えるイベントを行う場合、イベント主催者は開催1ヶ月前までに「新型コロナウイルス感染予防に係るイベント開催申出書」を新型コロナ克服くらしの安心相談・応援窓口へ提出しましょう。

### 1 準備

#### (1) 企画

- ・ 屋内イベントの場合は、開放可能な扉や窓が複数箇所があり、集客規模の2倍以上の収容能力がある会場を選びましょう。
  - ▶ 屋外イベントの場合は、お客様同士が人と人との距離（フィジカルディスタンス）を確保できる広さの会場を選びましょう。
  - ▶ 競技者の更衣室や待機室を準備する場合は、更衣室や待機室内の混雑にも注意しましょう。
- ・ 駐車場や最寄り駅から会場までの道路でお客様が密集状態にならないよう、会場までの複数の経路及び移動手段を設定しましょう。
  - ▶ 混雑が生じて近隣住民の迷惑にならないよう、スタッフがお客様を誘導しましょう。
  - ▶ シャトルバス等を運行する場合は、バス内やバス停付近の混雑にも注意しましょう。
- ・ 機材の搬入や選手の動線とお客様の動線は可能な限り分離しましょう。
  - ▶ 屋内イベントの場合は、会場裏口等を活用しましょう。
  - ▶ 競技者が客席の間を入退場する場合は、ハイタッチ等によるお客様と競技者が密接となる演出は控えましょう。
- ・ 屋内イベントの場合は、会場管理者と相談して、イベント集客数や会場の換気性能に応じて、イベント中の定期的な会場換気のための休憩回数や休憩時間を予め設定しましょう。
- ・ お客様の氏名や緊急連絡先を把握できるチケットシステムや電子決済を活用しましょう。
  - ▶ 参加無料や当日券を販売する場合もお客様情報の収集に努めましょう。
  - ▶ 接触確認アプリ（COCOA）も活用しましょう。
- ・ 全国的又は大規模なイベントを開催する場合は、新型コロナ克服くらしの安心相談・応援窓口へ事前相談しましょう。

#### (2) 会場設営

- ・ 設営から競技終了までに十分な時間を設定し、全体を通じて密な空間の防止に努めましょう。
  - ▶ 作業ごとにスタッフを選定することも有効です。
- ・ 観戦スペースに客席を設ける場合、フィジカルディスタンスを確保できる配席にしましょう。客席を設けない場合は、フィジカルディスタンスを確保できるよう床にテープを貼る等で目安を示しましょう。
  - ▶ 座席が固定されている会場を使用する場合は、使用できない座席をお客様にわかりやすく表示しましょう。
  - ▶ 目安が示せない場合は、お客様同士でフィジカルディスタンスをとるよう呼びかけたり、掲示を行いましょう。
- ・ 開場に備えて会場の扉や窓を開けるなど施設全体の十分な換気をしましょう。
  - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機なども活用しましょう。
- ・ 競技者や監督、コーチ等が大声を発生する競技の場合、競技場と観戦スペースの間にフィジカルディスタンスを確保できる空間を設けたり、アクリル板やビニールカーテンで遮蔽しましょう。
  - ▶ 着席により定位置で観戦する場合はお客様の前だけの遮蔽も有効です。
  - ▶ 客席より高い位置に競技場を設ける場合は、より十分な距離を確保しましょう。
- ・ お客様がトイレやロッカー付近で密集しないよう、トイレやロッカー付近で並び際にフィジカルディスタンスを確保できるよう床にテープを貼る等で目安も示しましょう。
  - ▶ 入場前に用便を済ますように事前に呼びかけたり、掲示を行いましょう。
  - ▶ 屋外イベントの場合は、トイレの数以上の手洗い設備も準備しましょう。
  - ▶ 目安が示せない場合は、お客様同士でフィジカルディスタンスをとるよう呼びかけたり、掲示を行いましょう。
  - ▶ 競技場内の洋式トイレでは蓋を閉めて汚物を流すよう掲示を行いましょう。
  - ▶ 競技場内トイレのハンドドライヤーの使用は控えましょう。
  - ▶ ロッカーの使用については、予約制も取り入れましょう。
- ・ トイレのドアノブ、ロッカー等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃・消毒しましょう。
- ・ スタッフ及び競技者はお客様用のトイレの使用を控えましょう。
  - ▶ お客様とトイレを共有する場合は、これまで以上に手洗いの励行を呼びかけましょう。
  - ▶ マラソンイベントなどの場合は、始点、休憩所、終点に手洗い設備を準備しましょう。

#### (3) その他

- ・ スタッフ及び競技者に出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛等の症状があるスタッフ及び競技者は自宅待機させましょう。
  - ▶ 体温測定は必須ではありません。ただし、競技者同士による激しい接触を伴う競技の場合は、過去2週間にわたる競技者の健康状態や競技者の家族や知人の感染疑いの有無を確認しましょう。
- ・ 感染したスタッフ及び競技者や濃厚接触者と判断されたスタッフ及び競技者の就業は禁止しましょう。
- ・ スタッフ及び競技者の控え室等では、使い捨ての紙皿やコップを使用しましょう。
- ・ スタッフ及び競技者やその家族が過度な心配や恐怖心を抱かないよう、また風評被害や誤解などを受けないよう、

現状を的確にスタッフや競技者に伝えましょう。

- ・アルバイト採用者、スタッフ及び選手などのイベント関係者の緊急連絡先を把握しましょう。  
▶イベント関係者に感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに協力しましょう。

## 2 入場（開場）

- ・チケット確認をするスタッフはマスクを着用するなど咳エチケットを実践するとともに、直接の対面を避けるためにアクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。  
▶お客様自身が切ったチケットの半券をスタッフが確認する方法も検討しましょう。
- ・会場出入口でお客様が密集しないよう、間隔をあけて並んでいただいたり、チケット番号等により入場できる時間を設けるなどの対応をしましょう。  
▶開場から競技開始までの時間を長めにとって、入場の混雑を緩和しましょう。
- ・発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様には来場いただかないよう呼びかけたり、掲示を行いましょう。  
▶非接触型体温計による体温測定も有効です。
- ・お客様に、入場時に手指の洗浄や消毒、飲食時以外のマスクの着用を呼びかけたり掲示を行いましょう。  
▶アルコール消毒だけでも有効なので会場入口や手洗い設備付近にアルコールを設置しましょう。
- ・お客様に、パンフレット等を手渡しで配布することを避けましょう。
- ・お客様に、会場内外での大声の発生や過度な飲酒は控えていただくよう呼びかけましょう。
- ・お客様がロッカー付近で密集しないよう、テープによる目安等に従ってフィジカルディスタンスをとるよう呼びかけたり、掲示を行いましょう。
- ・屋内イベントの場合は、お客様が会場に入場した後も扉や窓を開けるなど、競技開始直前まで会場全体の換気をしましょう。  
▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機なども活用しましょう。
- ・想定した集客数を超える入場にならないよう、入場制限も実施しましょう。

## 3 物販（グッズを販売するなど該当する場合）

- ・物販（食品提供を含む）を伴う場合は、「販売促進イベントにおける新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考にして、密閉、密集、密接の感染リスクを減らしましょう。
- ・競技者へ栄養補給等としてドリンクや果物を差し入れする際は、個人ごとに使い捨て容器で提供するようにしましょう。

## 4 公演（競技者サイン抽選会の併催など該当する場合）

- ・公演を伴う場合は、「公演イベントにおける新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考にして、密閉、密集、密接の感染リスクを減らしましょう。

## 5 競技中

- ・屋内イベントの場合は、換気扇を起動し、常時可能な限り会場を換気しましょう。
- ・競技者以外の選手や監督、コーチ等にマスクの着用を呼びかけましょう。
- ・接触（肩を組む）や声援（応援歌）等の密集・密接となる応援は控えるよう呼びかけたり、掲示を行いましょう。  
▶競技者以外の選手や監督、コーチ等による接触（ハイタッチやハグ）や声援（ベンチ内での声出し）等の密集・密接となる行為も控えましょう。  
▶国歌や校歌の斉唱も、音源再生により合唱を控えましょう。
- ・屋内イベントの場合は、競技の合間などに扉や窓を開けるなど、定期的に会場全体の換気をしましょう。  
▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機なども活用しましょう。  
▶夏場はエアコンの温度をできるだけ低く設定するなど、熱中症にも気を付けましょう。

## 6 退場（閉場）

- ・会場出入口や施設出入口でお客様が密集しないよう、チケット番号等による規制退場を誘導しましょう。  
▶退場する際もお客様同士で間隔をあけていただくよう呼びかけましょう。
- ・会場を出た後は、駐車場や会場から最寄り駅までの道路でお客様が密集状態にならないよう、様々な移動手段を設定して速やかな帰宅を呼びかけましょう。  
▶混雑が生じて近隣住民の迷惑にならないよう、スタッフがお客様を誘導しましょう。  
▶シャトルバス等を運行する場合は、バス内やバス停付近の混雑にも注意しましょう。

## 7 閉場後（撤収）

- ・閉場から撤収までに十分な時間を設定し、全体を通じて密な空間の防止に努めましょう。  
▶作業ごとにスタッフを選定することも有効です。
- ・ゴミは蓋つきのごみ箱に入れて密閉し、ゴミ出しを行う場合は、マスクや手袋を着用しましょう。マスクや手袋を外した後は必ず手を洗いましょう。
- ・連続した競技日程の場合は、明日の競技日程に備えて扉や窓を開けるなど会場全体や控え室等の十分な換気をしましょう。  
▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇、扇風機なども活用しましょう。
- ・連続した競技日程の場合は、会場や競技者の控え室等の清掃を徹底し、トイレのドアノブ、ロッカー等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃・消毒しましょう。
- ・連続した競技日程の場合は、スタッフのユニフォームや衣装はこまめに洗濯しましょう。

## 正しい手洗いの方法



## 正しいマスクの着用



## 鳥取県版新型コロナ警報

感染拡大リスクの評価基準に照らし合わせて誰もがわかりやすい注意喚起をすることで、新型コロナウイルス対策を効果的に展開していくとともに、社会活動の持続化・安定化を図ります。

### <鳥取県版新型コロナ警報>

区分		注意報	警報	特別警報
指標	新規陽性患者数	1人 (東・中・西部のいずれか)	全県で6人/週 (東部3人、中部2人、西部3人でも発動)	
	感染経路不明等	—	感染経路不明などで感染拡大のおそれ	
	病床 人工呼吸器	—	—	どちらかで稼働率50%超
活動制限	外出 イベント開催 施設利用	○感染拡大を予防する事項の呼びかけを強化 ・手洗い励行、マスク着用 ・換気の徹底 ・施設内の消毒	○発生施設に関係する箇所、3密な場所 ○状況に応じて不要不急の外出自粛を要請	○8割の接触削減(生活維持に必要なものを除く外出自粛)
			○比較的規模の大きなイベント等から順次制限 ○必要性があると認められる業務や施設に限って要請	
要請の法的根拠等		協力依頼 等	特措法第24条第9項による要請 等	特措法第45条も発動 等

問合わせ先  
新型コロナ克服くらしの  
安心相談・応援窓口

東部 県庁くらしの安心推進課 ☎0857-26-7989  
中部 中部総合事務所生活環境局 ☎0858-23-3982  
西部 西部総合事務所生活環境局 ☎0859-31-9637